

## 平成28年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

<b>施設名</b>	鳥屋野運動公園馬場		
<b>管理者名</b>	新潟市馬術協会	<b>指定期間</b>	平成26年4月1日 ～ 平成29年3月31日
<b>担当課</b>	中央区地域課		
<b>所在地</b>	中央区女池南3丁目6番5号		
<b>根拠法令</b>	スポーツ基本法		
<b>設置条例</b>	新潟市都市公園条例		
<b>施設概要</b>	敷地面積 6,467㎡、延床面積 425㎡ 建物構造 木造 主な施設内容（構成施設の内容） 厩舎（平屋建） 282㎡ 管理棟（平屋建） 43㎡ クラブハウス（平屋建） 100㎡		

施設設置目的
スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として、体育施設を設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
(1)新潟市都市公園条例に基づき、スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。 (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、住民サービスの向上や平等利用を確保すること。 (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。 (4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。 (5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。 (6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。 (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。 (8)指定管理者制度を理解し、実践すること。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	広報の充実	ホームページに施設の情報及びブログを月1回以上更新	フェイスブックを使い、概ね月10回以上更新。ホームページについては今後製作予定。	C	不特定多数の方が情報収集が可能になるよう早期の環境整備を求める
	基準利用者数の達成	利用者数年間14,400人以上	利用者数12,091人。その他に見学者概ね月150人程度。	C	指標を下回っており、今後の利用者の増加を期待する
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望には14日以内に回答	苦情・要望には迅速に回答	B	
財 務	利用者1人あたりのコスト削減額	利用者1人あたりコスト(人件費及び工事費を除く)を113円以下	109円	B	
業 務	日常連絡の適切さ	各種報告書の提出期限厳守及び業務基準書に定められた報告内容の適切さ	連絡等は随時、適切に行われた	B	
	改善勧告時の対応の迅速さ・適切さ	改善内容に応じて軽易なもの即日、時間を要するもの1週間以内に改善対応	簡易なものは迅速かつ適切に実施 時間を要する勧告は1週間以内に 対応した	B	
	環境に配慮した管理運営	省エネ及び環境に配慮した取り組みの実施	馬の堆肥等を肥料として、社会福祉法人等で再利用した	B	
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	防災訓練年2回以上実施	防災管理計画を設定し、訓練を年間2回実施	B	
	当該施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修年1回以上実施	パワーハラスメント及びセクシャルハラスメント研修を年2回実施	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	補償を伴う事故発生件数0件	年間事故件数10件程度。	B	
	業務基準書等に定める事項の遵守	その他業務基準書等に定める事項の遵守	残業時間を減らすため、職場改善計画を策定し、勤務時間をずらしての勤務体制を実施	B	

【評価基準】

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
- B: 要求水準(評価指標)が達成されている
- C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

・馬匹の購入や、維持管理費用等が高額となってしまうと言われている馬術というスポーツを、全国的に見て安価な価格設定で新潟市民のために提供している。  
 ・障がい者馬術への取り組みとして、乗馬療育を毎週2回実施しており、障がい者教育に貢献している。  
 ・青少年育成への取り組みとして、新潟乗馬スポーツ少年団(小学校4年生から高校3年生まで)に、25人程度の団員が所属し、ほぼ毎日の活動を実施している。  
 ・市民に対するの広報・告知活動強化の取り組みとして、新潟大学やJRA新潟競馬場と連携し、市民向け馬術大会を年間2回以上実施している。また、市民向けの大会を開催し、新潟市民の福利厚生を意識した活動をしている。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 ( 所 見 )

ホームページが開設されておりません。不特定多数の方が情報の閲覧が可能になるように早期の環境整備を求めます。ただし、フェイスブックを使い情報発信していることは評価できます。  
 各関係団体と連携し、広報・告知活動の強化をしていますが、施設利用者数の目標が達成されていませので、更なる利用者の増加につながる取り組みを期待します。